

# 人材育成基本方針の改定に向けて イメージを具現化する（研修体系設計支援） 人材育成基本方針策定研修

人材開発部門等  
ご担当者向け

## 研修のねらい

- 人材育成基本方針の位置付けを明確化することで、策定の方向性が見えます。
- 策定前にやるべきことを整理し、策定に備える作業内容を洗い出します。
- 策定の全体像、手順、工程ごとのポイントを確認して、実践イメージを明確化します。

全国の地方自治体において、地方公務員法の改正に伴い、人事評価制度の効果的・効率的な運用が僅々の課題になっています。しかし、人材育成基本方針のもと、人材育成トータルシステム（＝人事管理制度＋人材育成制度＋人事評価制度）の各種制度が有機的に結び付いておらず、制度導入することが目的化しており、「導入すれども、機能せず」というのが実態です。この研修では、多くの事例を自組織の現状と照らし合わせながら、人材育成基本方針についての課題と施策を明確にします。また設計時に活用できるツールの提示など、“参考になった”だけでは終わらせない、“実際に役立つ”実践型の研修で、「機能する」人材育成基本方針の策定につなげます。また、階層別の対象層、集合研修と職場研修(OJT)とのすみ分け、各種人事制度と研修との位置付けなどを確認し、研修体系設計の基本を整理するとともに、具体的な研修設計方法についても事例を通して学びます。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

### 1日コース

#### 1. 人材育成基本方針の位置付け

- (1) 地方自治体の3つの戦略から考える

◇ ベアワーク ◇  
「総合計画と人材育成基本方針の関係」

- (2) 各種人事制度と関係を整理する  
(3) 人材育成基本方針に必要なこと

#### 2. 人材育成方針の策定手順

#### 3. 研修体系設計時の現状分析の方法

- (1) 人員構成・配置数・給与など  
(2) マネジメント・組織風土・環境  
(3) 等級／年齢／性別／職種と能力

#### 4. 研修体系設計の基本

- (1) 実施目的から考える  
(2) 部門と人事部門の役割から考える  
(3) 人事の各種制度から考える

#### 5. 研修体系設計の5つの工程

- (1) 研修体系設計  
(2) 研修設計

#### 6. まとめ

#### < 合同(市町村)研修等での効果 >

- ▶ 地方自治体に即した人材育成基本方針策定・研修体系設計についてのポイントが学べます。
- ▶ 受講者同士による情報交換で、他の自治体の事例などの情報収集ができます。
- ▶ 研修終了後、コンサルタントにその場で個別相談ができます。

午前

午後